

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2015**



日本ジュエリーの最高峰を求めて

JJA ジュエリーデザインアワード 2015

JJA ジュエリーデザインアワードは、独創的で先進的な優れたジュエリーを国内・海外へ向けて発信する場です。真に美しい作品は、国を超え、人々の心に共感と感動を呼び起こします。欧米に比べ、ジュエリーの歴史が短いにも関わらず高い技術力・デザイン力を誇る我が国。固有の美しい文化と伝統を背景に、未来を見つめた新しいジュエリーを求め、提案し続けていかなければなりません。

JJA ジュエリーデザインアワードでは、第1部門「プロフェッショナル部門」を時代をリードするデザイン・技術・品質を兼ね備えたジュエリーとし、第2部門「テーマ部門」「和」では、テーマ規定に沿って、独創性豊かなデザイン・技術で表現されているジュエリーとしています。

また、第3部門「新人部門」では、新人・学生を対象に自由な発想を持った既成の概念を打ち破る新しい発想のジュエリーと位置付けています。

JJA ジュエリーデザインアワードは、未来のジュエリー業界を担う新しい可能性を持つクリエイターたちの優れた作品を発信する場として、世界に向けた日本のジュエリー文化の発展を求め続けます。

会期／会場 ● 2015 年 8 月 26 日～8 月 28 日

ジャパン ジュエリーフェア 2015 (JJF 2015)

東京ビッグサイト 東2・3 ホール アワード入賞作品展示会場

[展示作品] 特別賞含む全入賞作品

● 2015 年 9 月 18 日～9 月 22 日

香港ジュエリー&ジェムフェア

香港コンベンション&エキシビションセンター ホール3 JJA 広報ブース

[展示作品] 上位入賞7作品 (予定)

● 2015 年 10 月 3 日～10 月 12 日

山梨ジュエリーミュージアム 企画展示室

[展示作品] 特別賞含む全入賞作品

● 2016 年 1 月 20 日～1 月 23 日

国際宝飾展 (IJT 2016)

東京ビッグサイト JJA 広報ブース

[展示作品] 上位入賞7作品 (予定)

主 催

一般社団法人日本ジュエリー協会

後 援

経済産業省／厚生労働省／東京都／山梨県／台東区

協 賛

公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会

一般社団法人日本真珠振興会／プラチナ・ギルド・インターナショナル(株)

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2015**



ご挨拶



一般社団法人日本ジュエリー協会
会長

丸山 朝

Maruyama Hayashi

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本で最高峰のジュエリーコンテストを目指し経済産業省・厚生労働省・東京都・山梨県・台東区のご後援のもと毎年「JJA ジュエリーデザインアワード」を開催しております。このアワードは当初(第一回 1989 年)より数えますと 26 年となり極めて歴史ある大会となっております。このアワードのコンセプトはジュエリーデザインのみならず製作技術を発信する場でもあり、また、将来の業界を担う新人発掘の場でもあります。毎年のごことでこの開催がわが国のジュエリー文化の更なる高揚に寄与していると考えております。

今年度は第一部門「プロフェッショナル部門」第二部門「テーマ部門“和”」第三部門「新人部門」と昨年同様の対象部門と致しましたが、全国から多数の応募をいただき、皆様に御礼を申し上げるとともに、昨年にも増しての創作息吹を感じております。

この作品の中から厳正なる審査のもと「日本ジュエリー大賞 / 内閣総理大臣賞」「経済産業大臣賞」「厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「山梨県知事賞」「台東区長賞」「日本ジュエリー協会会長賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。特に本年度は意欲的な作品が多く、また昨年よりレベルがかなり上がっていることもあり、審査員諸氏から選考に大変苦勞した旨お聞きいたしております。一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本で最高峰のジュエリーコンテストを目指しデザインアワードを開催しております。

審査員 講評



東京藝術大学 教授
工芸科彫金
飯野一朗
Imo Ichiro

今年から内閣総理大臣賞、山梨県知事賞、台東区長賞の3賞が加わり後援者のアワードへ対する意気込みが感じられます。

1部2部は例年通り力作が多く、新人部門はレベルが一段と上がり好ましい状況だと感じました。今後継続して出品し1部2部で活躍されることを望みます。上位7賞となった作品はそれぞれに個性があり、甲乙つけがたい作品が選出されましたが合議のもと決定いたしました。

新人賞はいかにも新人らしい自由奔放な線を基調とした作品で、豊かな広がりを見せています。審査員の中から「あんなに線がいっぱい出ていて、ちゃんと着けられるのかしら？」という声がありましたので、モデルさんに着用してもらったところ、「身体にもフィットするし、全く痛くありません。」との答えでした。特別賞もそれぞれにふさわしい作品が選ばれました。

今後もこのJJAジュエリーデザインアワードに、業界をリードする新しい感性を持った作品が数多く出品されることを願ってやみません。



一般社団法人全日本
ブライダル協会 会長
桂 由美
Katsura Yumi

初めての審査経験でしたが皆さんの御努力が伝わってくる作品ばかりで感動致しました。特に宝飾という高価な装身具ではその作品に込められた作者のスピリットが重要だと常々思っていましたので全作品に皆さんの思いが滲み出ていたことに共鳴致しました。更に日本人らしいデリカシーがデザインにもテクニックにも表れていたことも良かったと思います。ただ、此のコンテストが世界を対象とするものだったらという視点から見ると「もう少し大胆なグローバリティのあるものがあつたら」とも感じられました。

然しこれは「欲を言えば」ということですので、是非これからも日本の良さを発揮してご活躍なさることを願っています。

審査員 講評



学校法人水野学園
学校長
水野倫理
Mizuno Rinri

昨年に続き審査に参加させていただきました。全体的な作品のクオリティが前年を上回るなかで、特に「新人部門」の応募作品に注目させていただきました。

ジュエリーのマーケットとしてはすでに十分に成熟している日本で、これからの「作り手」が育ってきているかを感じさせる指標になると思い拝見いたしました。生産拠点は多様化・国際化するなかで、宝飾品の制作においてはまだまだ日本の作り手にがんばっていただきたい、そして次世代を育てていきたいというのがジュエリーの学校に携わる私としての願いでもあります。その想いから新人作品を見させていただいたところ、デザイン・作りの両面から作り込まれた作品も多く見られ安心いたしました。一方でもう少し野性的で、自由で冒険心ある作品が出てくることもこれからの応募作品には期待したいと思います。



日本宝飾クラフト学院
学院長
大場よう子
Oba Youko

今回の応募作品には華やかな作品も多く、見ごたえがありました。「プロフェッショナル部門」、「テーマ部門」ではデザイン性はもちろん、装着性も重視しました。「新人部門」では新人らしい挑戦があるかどうかを考慮して審査しました。

上位入賞作品も実際に付けてみて、付け心地や装着性を確かめてから賞を決定しました。

「新人部門」には完成度の高い作品も多くありました。素材もべっ甲や貝、赤銅や四分一など伝統的素材に挑戦する姿勢が見られました。新人にはなかなか難しい宝石使いに期待できる作品もあり今後が楽しみです。

コンテストへ出品することは今までの成果を公の場で発表し評価を受けることであり、業界のレベルアップにもつながります。新人もプロも今回のようなチャレンジを継続していただければと思います。



雑誌「JEWEL」
編集長
藤井小百合
Fujii Sayuri

昨年より若干応募総数が少なかったという情報を頂いた時には、残念な気持ちになりましたが、審査に際しては、応募された方々のエナジーは大きく、充足した気持ちの良い疲労感がありました。今回の受賞作品は、どれもグランプリに値する魅力がそれぞれにあったように思います。特筆すべきは、着けるという行為に対して装う人に優しい工夫がデザインを損なうことなく、施されている作品が多く見られたことです。大賞のバングルは、その差で選ばれたと言っても過言でないでしょう。また、第2部門佳作のリング「宵待草の夜」は、技術賞に留まりましたが、指輪という小さな場面でありながら、デザイン、着け心地ともに優れ、指を大変美しく演出してくれるジュエリーでした。今回特に、ジュエリーというものは着けてこそのものであることを再認識しました。装うことで見違えるように輝いて見えるのです。授賞式では、できるだけ多くの作品を装着した発表を望みます。



ジャパン・プレシャス
編集長
深澤 裕
Fukasawa Yutaka

宝飾専門誌という立場上、日ごろから様々なデザインのジュエリーに接しておりますが、これだけ多くの力作を一度に拝見する機会を頂いたことは大変嬉しく、改めて日本のジュエリーの底力を感じることができました。

海外のジュエリーマーケットの成長と比較すると、今ひとつ元気が無いといわれる日本ですが、デザインや制作技術のレベルは世界トップクラスにあると言っても良いでしょう。

これはメイドインジャパンのジュエリーを外国人バイヤーがこぞって買い求める昨今のインバウンド需要を見ても証明されています。

ただ、残念ながら日本に不足しているのは“発信力”です。その観点からこういったアワードなどの機会を活用して、もっと世界へ向けてPRしていければ業界の活性化に繋がると思います。

今回の入賞作品は、世界に対して日本のprestigeを上げるに相応しい作品であり、「和」のテーマによる日本文化のPRにも大いに役立ってくれることを期待しています。

審査員 講評



ジュエリークラフトマン
吉澤一男
Yoshizawa Kazuo

作品審査について、人が美しく装えることを前提にデザインと加工技術のバランスがとれた完成度の高い作品について選考しました。

「プロフェッショナル部門」では、造形技術と手技による試みにチャレンジしていると思われる点を評価しました。但し造形加工部分と手加工部分との分量と技術力についてはまだ研究と研鑽の必要は感じましたが、現在の造形加工に頼った製作と異なり手加工技術を重んじ、素材と構造の工夫と造形を組み合わせでゆく試みは、今後の宝飾加工における技術の在り方について一方向性を感じられた。

「テーマ部門“和”では、技術力の優れた作品が数点あり評価に迷いました。結果小作品ではありますが、デザインイメージを充分にくみ取り、装着時のバランスも良くダイナミックでボリュームを感じさせる豊かな表現力と優れた加工技術など、総合的な完成度の高さを評価しました。

昨年に比べボリュームのある作品が多く、業界全体のアワードへの積極性を感じました。今後もデザイン、技術の優れた作品を期待し、世界へ発信できるジュエリーデザインアワードへと願います。



ジュエリーデザイナー
高橋裕二
Takahashi Yuji

ジュエリーデザインの“変化”は、大河の如く悠然とし捕え所がない。昭和40年代、自身の可能性を探り、試し、慣習に挑戦する場として、コンペを捕え参加した。フリーランサーに成るまでの数年間で、出品を止めた。企業との接点もなく、バックアップを得られない方も多いただろう。そこに焦点を当て、参加出来る様な施策を練り、全体のパイを広げる事も大切だと思う。

ずい分と長い間、大半の企業は経費削減、コストカットを大義に文化的事業へ投資せず、商品開発メンバー、型数を、極端に絞り、更に、生命線であるクオリティーを、御座なりにして来た。結果、目が利き次代を担える鋭い感性を持った次世代の、プロダクトメンバーの育成を、怠る事になった。最早一社に於て、複数のプロジェクトを編成し、競わせ、育てる余裕はない。JJA アワードの存在意義はそこにある。自らがリードオフマンとなり、様々なチームを引っ張る以外に、処方箋はない。

審査員一覧（審査員長以下 50 音順）

審査員長	飯 野 一 朗	東京藝術大学 教授 工芸科彫金
ゲスト審査員	桂 由 美	一般社団法人全日本ブライダル協会 会長
審査員	大 場 よ う 子	日本宝飾クラフト学院 学院長
審査員	高 橋 裕 二	ジュエリーデザイナー
審査員	深 澤 裕	ジャパン・プレシヤス 編集長
審査員	藤 井 小 百 合	雑誌「JEWEL」 編集長
審査員	水 野 倫 理	学校法人水野学園 学校長
審査員	吉 澤 一 男	ジュエリークラフトマン
特別賞選定員	木 下 章	一般社団法人日本真珠振興会 参与
特別賞選定員	小 林 誠	公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会 副会長
特別賞選定員	ハンキンソン尚子	プラチナ・ギルド・インターナショナル(株) 代表取締役社長

応募作品・点数

第 1 部門	プロフェッショナル部門	29 作品	39 点
第 2 部門	テーマ部門「和」	48 作品	72 点
第 3 部門	新人部門	35 作品	71 点
	合計	112 作品	182 点

入賞作品	39 作品	72 点
------	-------	------



日本ジュエリー大賞／内閣総理大臣賞
経済産業大臣賞
厚生労働大臣賞
東京都知事賞
山梨県知事賞
台東区長賞
日本ジュエリー協会会長賞

日本ジュエリー大賞 / 内閣総理大臣賞

Grand Prize / Prime Minister's Award



デザイナー
笹瀬嘉子
Sasase Yoshiko

[製作者/応募者]

株式会社エヌジェー

[E-mail] sasase@nj-co.com

「水面 MINAMO」

水面の深い透明感と揺らめき

水・光・風をも感じる景色のジュエリーを。

バングルは2重の立体感ある構造を持ち、サイズの違うダイヤモンドをきめ細やかに配することで揺らめく輝きを表現しました。

つねにインスピレーションを与えてくれる自然への感謝と憧憬とともに…

愛知県生まれ

ヒコ・みづの宝石専門学校卒業

1985年 “GOLD IN FASHION 85”

2008年 FOREVERMARK Forevermark Design Award
グランプリ・特別賞受賞

2014年 JJA ジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣
賞受賞



バングル・イヤリングセット/Pt900/ダイヤモンド

経済産業大臣賞

Economy, Trade and Industry Minister's Award



ネックレス/K18/エメラルド/ダイヤモンド



〔製作者〕 株式会社白金工房
〔応募者〕 アンブローズアンドカンパニー株式会社
〔E-mail〕 shirogane@ambrose.co.jp

「生命～いのち～」

日本女性の女らしさと意志の強さを、竹の持つしなやかさと力強い生命力に表しました。最先端技術と伝統技術の融合だけが生むスカーフのような想像を越える装着性をお楽しみください。

デザイナー
飯窪麻紀
Ikubo Maki

山梨県生まれ
1986年 山梨県立宝石美術専門学校卒業

厚生労働大臣賞

Health, Labour and Welfare Minister's Award



ネックレス/K18WG・K18YG/ダイヤモンド



〔製作者/応募者〕 株式会社ジュノー

「浮」

簡素な線が組み合わさることで初めて生まれる意味と、光差して織りなすイリュージョン、そこに日本らしい美意識を見えています。

数寄屋造りの建物が、梁や間仕切りの伝統を用いて風情を透いて見せたように、ダイヤを“透く”ことで、その本質に迫ろうと試みました。

2種類の玉の構造は、互いに相手の姿を、中心に形づくっています。

デザイナー

横田美和子

Yokota Miwako

1973年 東京都生まれ

1997年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ卒業

2013年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞受賞

2015年 International Jewellery Design Excellence Award 2015
DestinctionAward 受賞

東京都知事賞 /

プラチナ・ギルド・インターナショナル賞 / 技術賞

Governor of Tokyo Award, Platinum Guild International Award, Craftsmanship Prize



ネックレス/Pt900・Pt850/ダイヤモンド/タンザナイト・ペリドット・アイオライト



デザイナー

大館菜摘

Oodate Natsumi

〔製作者〕 橋本直季/高倉伸也

〔応募者〕 株式会社桑山

「rhythm= 調和」

リアル（具象）からアンリアル（抽象）へ、野生に息づく野葡萄を表現。淡色の葉に瑞々しい実でアクセントを付け、全体を引き締めた。調和を意味する rhythm。相反する物同士が主張し、引き立て合い、一つの物を作る。そこに調和（rhythm）が生まれる。体に合った滑らかな動きと、金具の精緻さにこだわりました。

2004 年 BAMS 学生メダルコンペティション入賞

2006 年 COOL DIAMOND AWARD 2 位入賞

2006 年 Central Saint Martins University of the arts London 卒業

山梨県知事賞

Governor of Yamanashi Award



リング/K18WG・K18YG/ゴールデンパール/ダイヤモンド



デザイナー

日比野孝也

Hibino Takanari

〔製作者〕 高島準平

〔応募者〕 株式会社伊東商店

「波紋」

ゴールデンパールが水面に落ちた瞬間に出来る波紋の美しさを表現しました。連続したシンプルな円形パーツを立体的に組み上げる事でリズムカルな動きの瞬間とダイナミックに広がる波紋のスケール感を表現しました。

- 1957 年 愛知県生まれ
- 1977 年 名古屋造型芸術短期大学環境デザイン科卒
- 1980 年 プラチナ デザインコンテスト 入賞
- 1983 年 全国宝石 D.C. 入賞
- 1985 年 プラチナ デザインコンテスト 入賞
- 1986 年 ゴールド イン ファッション D.C. ゴールド賞受賞
- 2003 年 タヒチアン パールロフィー ジャパン 2003 ゴールド賞受賞 La vie de 30ans 賞受賞

台東区長賞

Mayor of Taito City Award



チョーカー・ティアラ&イヤークラフ/K18WG/グリーンガーネット・ピンクサファイア・ダイヤモンド



デザイナー

小笠原玲子

Ogasawara Reiko

〔製作者〕 株式会社二輝

〔E-mail〕 headaddress.reiko@gmail.com

「ヴィーナス Venus」

ポッティチェリの代表作〈ヴィーナスの誕生〉から、愛と美の女神ヴィーナスの花である薔薇をモチーフに、チョーカーとしても、ティアラと薔薇の弦を絡ませましたイヤークラフのセットとしてもお使い頂けます。

貴方に着けて頂きます事を願って居ります。

丹精を込めて製作して下さいました職人さん皆様に心より深く感謝致します。

1953年 神奈川県生まれ

1974年 フェリス女学院短期大学卒業

2008年 JJA ジュエリーデザインアワード 2008 日本ジュエリー協会会長賞・技術賞

2010年 JJA ジュエリーデザインアワード 2010 日本ジュエリー協会会長賞

日本ジュエリー協会会長賞

Japan Jewellery Association President Award



プレスレット・リングセット/Ag950・K18



[E-mail] itto_metal_flower@yahoo.co.jp

「四角景」

金箔や銀箔を貼った屏風からインスピレーションを受けて制作しました。味のある質感と浮かび上がる格子模様、折ることによって生まれる色の変化に品のある「和」を感じ、そのイメージを彫金技法に置き換え、四角形の面とそれらを交互に折ることで生まれる陰影、立体感で構成し、プレスレットとリングにしました。

デザイナー/製作者

三島一能

Mishima Ittou

2011年 東京藝術大学大学院 彫金専攻 修了
2014年～ 神戸芸術工科大学 アート・クラフト学科 実習助手
2009年 JJA ジュエリーデザインアワード 2009 新人大賞
2012年 日本ジュエリーアート展 大賞

第1部門

プロフェッショナル部門

優秀賞

Award of Excellence



プレスレット/K18WG/さんご/ダイヤモンド

デザイナー
石川和代
Ishikawa Kazuyo

〔製作者/応募者〕 東京貴宝株式会社

〔E-mail〕 kazuyo.ishikawa@gmail.com

「やわら（柔）」

柔らで起きる気の動きを運筆で表現することで二次元の世界の書道を三次元の立体ジュエリーで活かすことに挑戦しました。

柔のうちに秘める和の心を血赤の珊瑚で魂として表現しました。

佳作

Honorable Mention



ネックレス・ピアスセット/K18/ダイヤモンド/アコヤ真珠

「雪持竹」

まっすぐと背筋をのばして天に伸びる竹のたくましい生命力に、雪の重みにも耐えるしなやかさ。年間を通じて青々としている竹に雪が積もる様子は、冬景色を美しく演出しています。

デザイナー

簗和田幸恵

Minowada Yukie

〔製作者〕 簗和田元

〔応募者〕 ミノワダジュエリークラフト

〔E-mail〕 info@minowada.net

入選

Nominated



リングセット/K18・K18WG/ダイヤモンド/
ルビー・サファイア・グリーンガーネット



リング＊ペンダント＊ブローチ・ピンブローチセット/
K18WG/クロチョウ真珠/ダイヤモンド



ピンブローチ/K18・K18WG/レモンクォーツ/ダイヤモンド・ルビー・
ブラックダイヤモンド・シトリン・ペリドット・ムーンストーン

「オペラ「カルメン」 闘牛士の歌」

2本のリングを合わせると背景に闘牛場が現れ、闘牛士と牛が対決する躍動感溢れる構図が浮かび上がります。

デザイナー

山田光穂湖

Yamada Mihoko

〔製作者〕 MASAYA

〔応募者〕 Christie Rose

〔E-mail〕 Chistierose@lake.ocn.ne.jp

「Loop Zero」

使う人の創造力と工夫によって何にでもなる、何にでも使えるジュエリーです。リング、ペンダント、ブローチ、等何でも！

デザイナー

市川治之

Ichikawa Haruyuki

〔製作者〕 島津浩明

〔応募者〕 株式会社サイキ宝飾

「千夜一夜」

子供の頃読んだアラビアンナイトから、空飛ぶ絨毯に乗った魔法のランプという空想の世界を表現しました。

デザイナー/製作者

保坂恭子

Hosaka Kyoko

入選

Nominated



ブローチ/K18・K18WG/ダイヤモンド/パウアシェル/(七宝)



リング/K18・K18WG・K18PG/ルビー/ダイヤモンド



ネックレス・リング・イヤリングセット/Pt900/
ピンクサファイア/ダイヤモンド

かい 「開」

お使いいただく際の気分や状況に合わせて「シンプル」と「多少華やか」を使い分けられる物を目指しました。

デザイナー/製作者

内田岳志

Uchida Takeshi

[応募者] エンゼルリング

「花蝶風舞」

パープルゴールドに、ルビーの反射効果で花の力強い輝きを表現。そして風に流れ、舞う様子を指輪にしました。

デザイナー/製作者

田口広明

Taguchi Hiroaki

[応募者] 株式会社ジュエリーミウラ

「桜満開」

日本の美の象徴でもある桜を、ジュエリーで咲かせる、ということをコンセプトに、宝石の輝きで満開の桜を表現しました。

デザイナー

下蘭祥恭

Shimozono Yoshiyasu

[製作者/応募者]

東京貴宝株式会社

[E-mail] sakura@tokyokiho.com

第 2 部門

テーマ部門「和」

優秀賞

Award of Excellence



リングセット/K24・K18・Ag950



デザイナー/製作者

田中紀久

Tanaka Norihisa

「折り重なり」

日本の伝統でもある折り紙をヒントに一枚、一枚の銀板を折り重ね、組み上げて指輪にしてあります。形の元としては、日本各地にあるお城や塔などを参考にデザインし形にしてみました。ペーパーでモデリングをしていく段階で朝顔のような花にも少し意識しながらの作業でした。この作品で少しでも和を感じていただければと思います。

[E-mail] tanaka@atelier-gemcraft.com

1967年 静岡県生まれ
1999年 インターナショナルパールデザインコンテスト 佳作
2000年 JJA ジュエリーコンテスト 2000 東京都知事賞
2002年 JJA ジュエリーコンテスト 2002 佳作
日本ジュエリーアート展 入選
2003年 インターナショナルパールデザインコンテスト 佳作
2004年 JJA ジュエリーデザインアワード 2004 入選
2006年 JJA ジュエリーデザインアワード 2006 入選

2009年 JJA ジュエリーデザインアワード 2009 入選
2010年 日本ジュエリーアート展 入選
2011年 JJA ジュエリーデザインアワード 2011 入選
2014年 JJA ジュエリーデザインアワード 2014 佳作 技術賞
日本クラフト展 入選

海野えり子氏に師事

佳作 / 技術賞

Honorable Mention, Craftsmanship Prize



リング (インデックス)/K18YG・K18WG/アコヤ真珠/ダイヤモンド

「宵待草の夜」

夕暮れを待ち月を映して咲く宵待草をモチーフに、自然に寄り添いたおやかに生きる日本人の心の風景をジュエリーで表現致しました。

咲きほこる花が舞い、花びらが月にかかる様をあらゆる方向から見て美しいようにデザイン致しました。装着した時に自然との融和を感じていただけたら嬉しく思います。

デザイナー

中尾美穂

Nakao Miho

[製作者/応募者] 株式会社ナガホリ

佳作

Honorable Mention



ペンダント/K18WG・K18/オパール/ダイヤモンド・べっ甲

「夏の夜」

ホタルの光は、強く激しいものがあります、ホタル袋を通した光は、淡くやさしい思いがします。

オパールの遊色効果とべっ甲のホタルでどこか懐かしい夏の夜の一幕を表現しました。

デザイナー/製作者

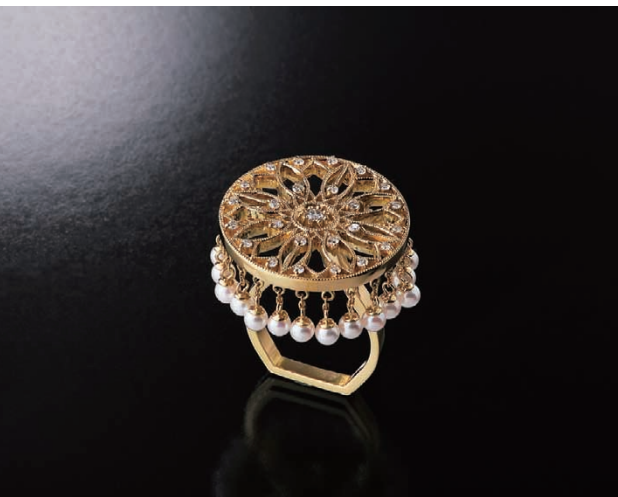
横尾元子

Yokoo Motoko

[E-mail] kikichanyokoo@yahoo.co.jp

入選 / 日本真珠振興会会長賞

Nominated, Japan Pearl Promotion Society President Award



リング/K18/ダイヤモンド/アコヤ真珠

「ハマギクの輝（和心華）」

揺れる真珠は華薫る輝き。奥ゆかしさと希望を持つ心、凜とした美しさを和華ハマギクで繊細に表現しました。

デザイナー

渋谷優子

Shibutani Yuuko

〔製作者〕 諸岡正彦

〔応募者〕 優宝

〔E-mail〕 yufor@s3.dion.ne.jp

入選 / 日本ジュエリーデザイナー協会会長賞

Nominated, Japan Jewellery Designers Association President Award



ブローチセット/Silver

「construction」

「和」を日本にとらえ普段から目に入る街並みに新しく構築されている建物からこの風景が現在の日本と感じました。

デザイナー/製作者

田口史樹

Taguchi Fumiki

〔E-mail〕 fumiki69@gmail.com

入選

Nominated



ブローチ/K18WG/アコヤ真珠/ダイヤモンド

「しなやかな愛」

真珠の葉は2枚が重なり合うようにしなやかに、いたわりあって伸びていけるよう、大きな軸の基に愛を描いた。

デザイナー

吉田園子

Yoshida Sonoko

[製作者] 栄光時計株式会社 広島営業所

[応募者] 栄光時計株式会社



ブローチ/Ag925/ペリドット

いにしえ

「古のたわむれ」

ことわざ“見ざる 言わざる 聞かざる”を3DCAD/3Dプリンターのデジタルデータで製作された作品。

デザイナー/製作者

大山 剛

Ooyama Tsuyoshi

[応募者] 株式会社エファーナ

[E-mail] jewelephana@gmail.com



ペンダント/K18/ダイヤモンド

「蝶々」

花にとまろうと、ゆらゆらと舞う蝶々。その優雅な動きを、可動する2枚の板の透かしにて表現しました。

デザイナー

黒河内みどり

Kurogouchi Midori

[製作者/応募者] ジュエリー工房かざり

入選

Nominated



ネックレス・イヤリングセット/Ag925・K14WG/アコヤ真珠

「月待ちサンゴ」

ここは海の底。静かに、月が満ちるのを待つサンゴたち。
アコヤ真珠を泡や卵に模し、調和への祈りを込めた。

デザイナー/製作者

竹川麻衣子

Takekawa Maiko



リングセット/K18・Ag925/シロチョウ真珠/ダイヤモンド

「ループ」

優美なループは輪であり和でもある。
人との絆を永遠に結び続け、調和を生み出していくデザインにしました。

デザイナー/製作者

宮本恵美

Miyamoto Emi

[応募者] アンシヤンテ



リング・ペンダントセット/Pt900/ブルージルコン/
サファイア・ダイヤモンド・クリソベリルキャッツアイ

「砂紋に遊ぶ」

日本独特の枯山水の紋様をモチーフにして自然と向き合いそしてデザインの変化も楽しみたいと考えた作品です。

デザイナー/製作者

和地妙子

Wachi Taeko

入選

Nominated



ネックレス/Pt900・K18PG・K18YG・K18WG/ダイヤモンド

「和衣」-WAGOROMO-

着物の帯に伝統工芸である組子細工と木目金の美しい色合いを組み合わせ、柔らかく華やかな「和」を表現いたしました。

デザイナー

瀬川 薫

Segawa Kaori

〔製作者〕 株式会社白金工房

〔応募者〕 アンブローズアンドカンパニー株式会社

〔E-mail〕 shirogane@ambrose.co.jp



ペンダント（独楽）/Pt900/ダイヤモンド/ルビー

「Spinning Seven」

モノ作りの精神で挑んだ世界コマ大戦への出展を機に、より美しく7分以上回るルビーを軸とした高精度の独楽を成功させた。

デザイナー

石井恵理子

Ishii Eriko

〔製作者〕 周防貴紀

〔応募者〕 ジュエリー Crest

〔E-mail〕 jewelry-crest@rosenet.jp

第 3 部門

新人部門

新人大賞

New Talent Grand Prize



ネックレス・ピアスセット/Ag925



加藤 まな

Kato Mana

「ゆれるきもちー冬ー」

自然を見て揺れ動かされる気持ちと、ジュエリーによって動かされる気持ち。2つの揺れる気持ちを重ね合わせ、実際に身につけることで揺れ動くジュエリーを制作しました。

このジュエリーは冬の景色を表現しています。銀線が冷たい風や枝を表していて、身につけることで今にも枝から落ちそうな枯葉がひらひらと揺れます。

1991年 愛知県生まれ
2015年 東京藝術大学美術学部工芸科彫金専攻 卒業
東京藝術大学大学院1年彫金専攻 在籍中

新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



ブレスレット/純銀・Ag850

「小さなことの積み重ね」

この作品は、紙で遊んでいるうちに偶然出来たものです。その形がきれいで金属で出来たらおもしろいだろうなと思いつきました。角や直線のあるものを美しい曲線で表現できたと思います。評価していただきありがとうございます。

山下佳織

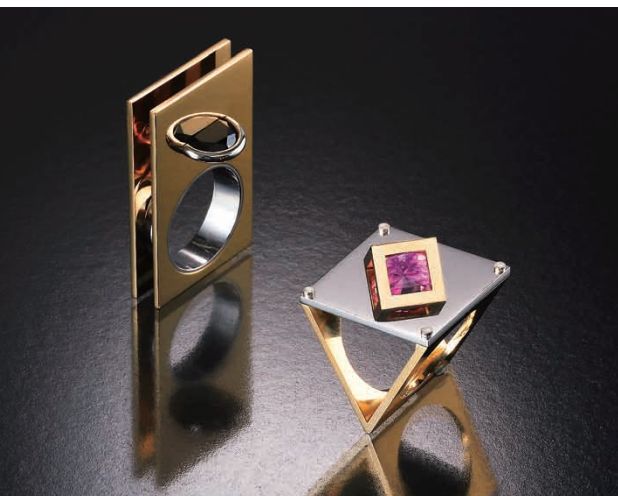
Yamashita Kaori



1988年 愛知県生まれ
2013年 第17回 パールコンテスト 等別賞
2014年 第18回 パールコンテスト 入選
現在 日本宝飾クラフト学院 名古屋校 在学中

新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



リングセット/Ag950/キュービックジルコニア

「1/2」

真二つに研磨した石を鏡のように磨いたシルバーに映して一つの石に見せるという試みをリングにしました。火をあてると鏡部分に歪みが生じる恐れがあった為、各パーツはかしめで固定しました。石の留め方は石が目立つシンプルなものとし、留め方自体にデザイン性をもたせたものの二種を考案し制作しました。

牧田裕美

Makita Hiromi



1982年 東京都生まれ
2013年 日本宝飾クラフト学院入学
2014年 第18回パールジュエリーコンテスト 特別賞
全国ジュエリー・アクセサリーデザイン画コンテスト 審査員特別賞
2015年 フレッシュマン・ジュエリー・デザインコンテスト 入選

新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



リング・ネックレス・イヤリングセット/Ag925

「Cactus」

シンプルな回転体の形を元にして記憶の中にある植物の印象を想起させる形・ラインを意識して制作しました。暮らしに寄り添い癒しを与えてくれる自然と、人々の想いと共に寄り添うジュエリーのイメージを重ねて制作しています。ジュエリーを身に付けた人に癒しやときめきを感じて頂けたらと思っています。

関矢あかね

Sekiya Akane



1990年 千葉県生まれ

2014年 東京藝術大学美術学部工芸科彫金専攻卒業

2015年現在 東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻彫金 在学中

入選

Nominated



ブローチ・リングセット/Ag925

「揺蕩う」

繊細な流れをテーマに制作しました。薄い銀板を用いて繊細な揺蕩う波をイメージし、構成しました。

小林 航

Kobayashi Wataru

[E-mail] gagaga.7188@gmail.com



ブローチセット/Silver・ステンレス

「unyo-unyo」

ペラペラの金属を折り曲げていくことによって色々な形を表現しました。

藤森 萌

Fujimori Moe

[E-mail] k.drn.pu1@gmail.com



リングセット/Ag925/白蝶貝・黒蝶貝

「en」

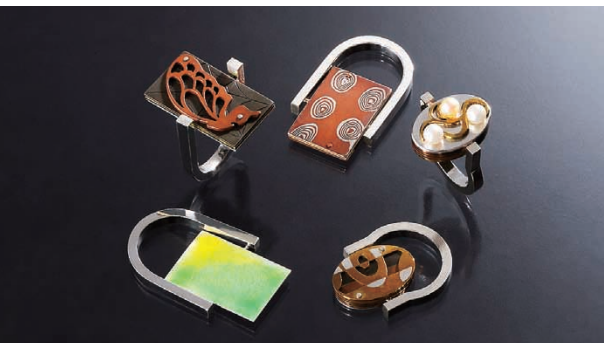
同じデザインの指輪を2色作る事で物事は多面的で捉える者によって見える世界が違うという事を表現しました。

金田 共代

Kaneda Tomoyo

入選

Nominated



リングセット/Ag950・銅・真鍮・四分一・
赤銅・銅・純銀/パール/(七宝)

「リバーシブル」

伝統的な技法で素材を変え表現方法や色の変化を出しました。表と裏で表情が異なる動きのある作品にしました。

山本のぞみ

Yamamoto Nozomi



ヘアオーナメント/Ag950・Ag925

「願い」

シロツメクサとクローバーは一つずつワックスで成形しました。身につける人の幸せを願って製作しました。

北田晃子

Kitada Akiko



ネックレス・ピアセット/Ag950・Ag925

「注連縄」

有機的なラインが美しい注連縄がジュエリーとなって、人をより美しく引き立てることを願い制作しました。

崔 壽現

Che Suhyon

[E-mail] suhyun7351@yahoo.co.jp

入選

Nominated



リングセット/Ag925

「Beo 塔のあるたてもの」

色々な街の“塔のあるたてもの”をテーマに、持ち主を見守ってくれる様な指輪を制作しました。

佐久田麻希

Sakuta Masagi

[E-mail] asagisakuda@yahoo.co.jp

一般社団法人 日本ジュエリー協会

会長 丸山 朝

デザインアワード部会

部会長

小山 藤太

デザインアワード委員会

委員長

望月 尚

委員

坂巻 章雄

副委員長

山本 真理

日笠 裕二

編集

一般社団法人 日本ジュエリー協会

デザインアワード委員会

撮影

Studio A-Vipc

印刷

山口北州印刷株式会社

発行日

2015 年 8 月 26 日

発行

一般社団法人 日本ジュエリー協会

〒110-8626 東京都台東区東上野 2-23-25

TEL (03) 3835-8567 FAX (03) 3839-6599

<http://www.jja.ne.jp> E-mail: ja@jja.ne.jp

禁無断転載複写



一般社団法人日本ジュエリー協会